

福祉用具における保険給付の在り方について

①「福祉用具における保険給付の在り方に関する検討会」の状況について

審議報告

○平成21年度介護報酬改定に関する審議報告(第62回介護給付費分科会抜粋)

福祉用具サービスの向上、貸与種目と販売種目の整理等保険給付の在り方については、状態像に応じたサービス提供の状況、メンテナンスに係る実態把握、有効性等について早急に調査研究を行い、「福祉用具における保険給付の在り方に関する検討会」(田中 滋座長)において、引き続き議論・検討を行い、早急に必要な対応を行う。

対応状況

○第4回福祉用具における保険給付の在り方に関する検討会開催(平成21年8月7日)

福祉用具事業者のサービス実態、利用者の状態(生活機能・自立度)や意向の変化に応じた福祉用具サービスの有効性について評価することを目的として、21年度老人保健健康増進等事業(テクノエイド協会実施)にて実施する調査内容についてご審議いただいた。

- (1)福祉用具種類毎のサービス実態把握(ケーススタディ調査)
- (2)メンテナンス等の実態把握(アンケート調査)
- (3)利用効果に係る実態把握(ADL等客観的視点調査)
- (4)利用効果に係る実態把握(利用者満足度調査)

今後の予定

○上記の調査研究の結果を踏まえ、論点を整理し、来年度早急に検討会においてご審議いただく。

②福祉用具の競争を通じた価格の適正化の推進について

審議報告

○平成21年度介護報酬改定に関する審議報告(第62回介護給付費分科会抜粋)

福祉用具貸与の価格については、同一製品で非常に高額になるケース等(いわゆる「外れ値」)が一部存在していること等を踏まえ、競争を通じた価格の適正化を推進するため、製品毎等の貸与価格の分布状況等の把握・分析・公表や、介護給付費通知における同一製品の貸与価格幅等の通知を可能とするなど、都道府県、市町村の取組を支援する。

対応状況

○国保連合会介護給付適正化システムの改修及び活用の周知

- ・国民健康保険中央会のご協力のもと、国保連合会介護給付適正化システムを改修いただき、新たに検索条件等を拡充(平成21年8月末)
- ・同システムの積極的な活用を要請したところであり、今後とも、介護給付費通知の発出等、競争を通じた価格の適正化に係る施策を推進するよう依頼
(国保連合会介護給付適正化システムの改修における福祉用具の介護給付の適正化の推進について(平成21年6月17日付事務連絡))

調査の実施

- 国保連合会介護給付適正化システムの活用状況について、市町村に対して調査を実施（平成21年12月1日時点）
 - ・同システムを活用している市町村のうち、約45%の市町村が介護給付費通知を発出若しくは発出予定
 - ・さらに約25%の市町村について、介護給付費通知の発送を検討

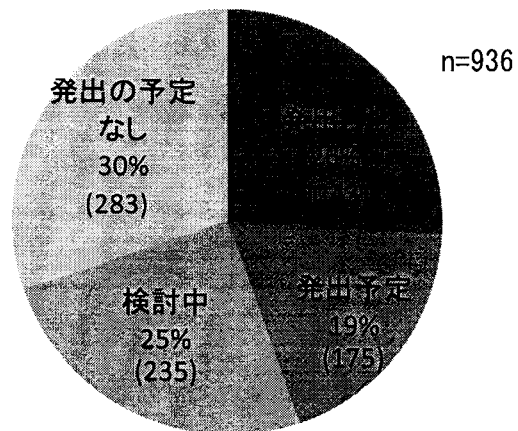
- さらに平成22年3月5日全国介護保険・高齢者保健福祉課長会議において、調査結果を報告の上、以下について依頼
 - ・利用者等に対し価格も含めた適切なサービスを提供できるよう都道府県・市町村におかれては、同システムを積極的に活用いただくよう引き続き依頼
 - ・なお、介護給付費通知を発送する際は、居宅介護支援事業所等関係機関・関係団体に予め周知等いただき、円滑に普及が促進されるよう依頼

平成21年12月1日付事務連絡『介護給付適正化システムの活用状況に関する調査について』の集計結果(平成21年12月1日時点)

①適正化システムを利用した給付費通知について

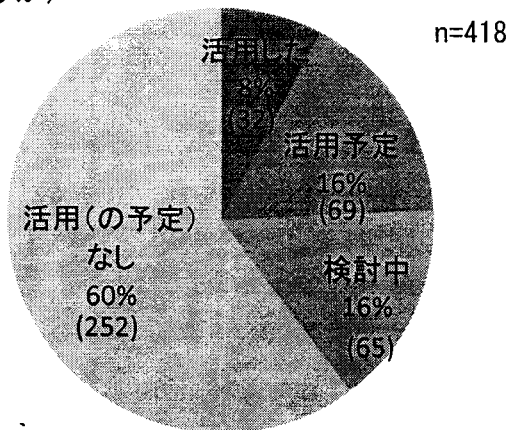
・給付費通知発送状況

(介護給付費適正化システムを利用しての実施有無)



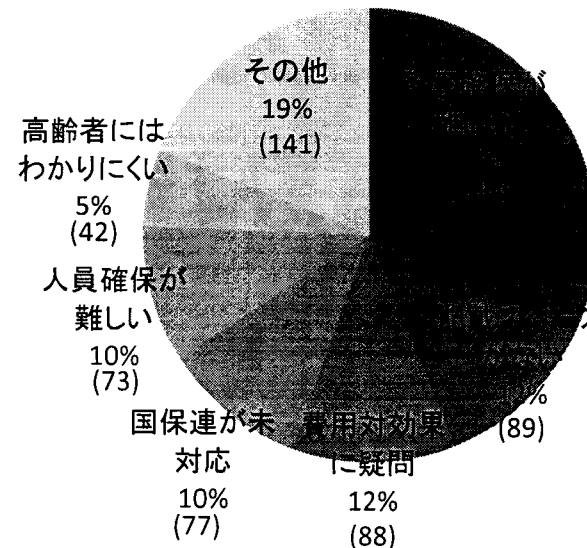
・拡充機能活用状況

(発出したもしくは発出予定のうち、拡充した機能を活用したかどうか)



②介護給付費通知を実施するにあたっての課題

(複数回答あり)



③給付費通知以外に実施している適正化事業があるか

- 説明会・研修等の実施
- 分布図等のホームページ掲載
- 利用者へのアンケート調査など